

安全報告書

2023



全線開通100周年記念ヘッドマークをつけた青忍者列車



伊賀鉄道株式会社

目 次

1. ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方・・・・・・・・	2
3. 2022年度の事故等の発生状況・・・・・・・・	2
(1) 鉄道運転事故・・・・・・・・	2
(2) 輸送障害・・・・・・・・	2
(3) インシデント・・・・・・・・	2
(4) 行政指導等・・・・・・・・	2
4. 輸送の安全確保のための取り組み・・・・・・・・	3
(1) 経営トップによる現業職場巡視・・・・・・・・	3
(2) 内部監査の実施・・・・・・・・	3
(3) 係員の教育訓練・・・・・・・・	3
(4) 異例時対応訓練・・・・・・・・	3
(5) ホームにおける転落防止の取り組みと今後の方針・・・・・・・・	4
(6) 施設・車両の管理・・・・・・・・	4
(7) 異例時における情報配信モニター設置・・・・・・・・	5
(8) 新型コロナウイルス感染症対策・・・・・・・・	5
(9) 上野遊水地陸間施設使用時の適切な対応・・・・・・・・	5
(10) 中部運輸局長表彰・・・・・・・・	5
5. 安全管理体制・・・・・・・・	6
(1) 安全管理組織・・・・・・・・	6
(2) 各管理者の役割・・・・・・・・	6
6. お客さまや沿線の皆さまへのお願い・・・・・・・・	7
(1) ホームでのお願い・・・・・・・・	7
(2) 車内でのお願い・・・・・・・・	7
(3) 踏切でのお願い・・・・・・・・	7
7. 地域の皆さまとのかかわり、コミュニケーション・・・・・・・・	8
(1) こども110番の駅・・・・・・・・	8
(2) 電車の乗り方教室・・・・・・・・	8
(3) 伊賀鉄道友の会、沿線の施設・団体と共同で開催するイベント・・・・・・・・	8
(4) まくら木オーナー制度、つり革オーナー制度他・・・・・・・・	8
(5) 「お客さまの声」を受けて・・・・・・・・	9
8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先・・・・・・・・	9

1. ごあいさつ

いつも伊賀鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。

伊賀線は2017年4月1日から、それまでの近畿日本鉄道株式会社に代わって地元自治体である伊賀市が第三種鉄道事業者として施設・車両を保有し、当社がそれを借り受けて鉄道を営業する「公有民営方式」へ事業形態を移行いたしました。

当社は、伊賀市と連携して安全・安心・安定的な輸送の確保に取り組むべく、国・県・市の補助金も活用して施設・車両の保守・修繕・更新を実施しております。また、2022年度は、伊賀上野～西名張まで全線開通100周年という節目の年を迎え、コロナ禍での感染対策を行いながら、記念式典や伊賀線まつり、いがりてつマルシェなどのイベントを実施することが出来ました。また、営業面では100周年に合わせた様々な新商品の発売、地域の一大イベントである『上野天神祭』に合わせた★ワンコイン★デジタル1日フリー乗車券の発売など、地域と一体となって鉄道利用の促進と伊賀エリアの情報発信に尽力してまいりました。しかしながら、一度落ち込んだ鉄道利用に対する需要はやや回復の兆しは見えるものの、鉄道事業収益についてはコロナ前より大幅に減少した状況が続いております。

一方では、日本経済新聞の東海4県ローカル鉄道利用者アンケート調査にて、接客満足度が第1位との評価を頂きました。これからもお客様に安心してご利用いただける伊賀線を目指し、社員全員が熱意と緊張感をもって、安全意識の高揚と安全・安心・安定的な輸送の確保に取り組み、地域住民の皆様ならびにご利用のお客様の信頼と期待に応えてまいります。

本報告書は、お客様に安心して目的地までご乗車いただくための取り組みや実態を皆様に広く紹介するため、鉄道事業法第19条の4に基づいて作成し、公表するものです。今後の安全輸送の維持、さらにはその充実を図るためにも、皆様から率直なご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2023年9月

伊賀鉄道株式会社
代表取締役社長

福嶋 博



2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

安全最優先の原則と関係法令等の遵守を徹底し、経営トップから現場の従業員に至るまで全員が一丸となった安全管理体制の強化を進め、お客様の安全を確実なものにするため、「安全方針」を制定し、安全目標および安全重点施策を年度毎に定めております。

また、近年、自然災害が運輸事業の安全確保の脅威となっており、自然災害に対応する全社的な方針として、「防災の基本方針」を新たに制定いたしました。

○安全方針

「運転安全規範綱領」に則り、みんなで協力して安全レベルのさらなる向上を目指します。

- 運転安全規範綱領
1. 安全の確保は、輸送の生命である。
 2. 規程の遵守は、安全の基礎である。
 3. 勤務の厳正は、安全の要件である。

○防災の基本方針

1. 過去の自然災害を教訓とし、防災・減災に取り組めます。
2. 自然災害の対応を行う際は、お客様および社員の安全を最優先に行動します。
3. 災害復旧にあたっては、十分に安全を確保したうえで、早期の運転再開を目指すとともに、適時適切な情報発信に努めます。

○安全目標（2023年度）

- ・鉄道運転事故、インシデントを発生させない。
- ・当社責任によるお客様の死傷事故を発生させない。

○安全重点施策（2023年度）

- （1）「事故の芽情報」の深掘りによる安全意識のレベルアップ
- （2）高齢社員に対する資質の維持・管理
- （3）伊賀市・近鉄と連携した施設・車両の計画的な修繕・更新の実施

3. 2022年度の事故等の発生状況

- （1）鉄道運転事故 【ありませんでした】
- （2）輸送障害（30分以上の遅延や運休） 【2件】
 - ・2022年 9月 9日 降雨量による運転休止
 - ・2022年11月 1日 車両故障（上野市駅構内）
- （3）インシデント（鉄道事故等が発生する恐れのある事態） 【ありませんでした】
- （4）行政指導等 【ありませんでした】

4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 経営トップによる現業職場巡視

社長および輸送の安全確保に関する業務を統括する安全統括管理者（鉄道営業部長）が、現業職場巡視および列車添乗を定期的に行い、取り組み状況を確認するとともに意見交換を通じ、安全管理の確認を行っております。



(2) 内部監査の実施

「安全管理規程」に基づく安全管理体制の実施状況を確認するため、2023年1月27日に近畿日本鉄道株式会社監査部による内部監査を受け、適正であることが確認されました。今後も継続的な安全性の向上を図ってまいります。

(3) 係員の教育訓練

年間指導訓練計画に基づき、知識・技能の維持向上を図るため、乗務員および駅係員を対象に毎月教育訓練を実施しています。運転士については、監督者による添乗指導に努め、事故防止の基本である基本動作の励行と運転技能の向上を図っています。

また、業務委託先に対し、教育訓練の実施状況および資質の管理状況を確認し、適切に管理しています。

(4) 異例時対応訓練

① テロ対策合同訓練

2021年10月に京王電鉄の車内で男が刃物を振り回して17名の乗客を負傷させ、さらに油のような液体をまいて火をつけた事件が発生しました。また、その前後にも鉄道車内で乗客を傷つけるテロ行為等がたびたび発生し、鉄道会社の防犯体制や警察との連携、列車からの避難方法の検討など、社会的に大きなニュースとして取り沙汰されました。弊社においても、伊賀警察署、伊賀消防署等と合同で、テロ発生時におけるお客様の安全確保と被害の拡大防止を図るための訓練を2022年11月4日に実施いたしました。

② 車両脱線復旧訓練

2022年11月15日に上野市車庫において、近畿日本鉄道と合同で訓練を行いました。近年他社で発生している異常気象による土砂崩壊発生を受けて、車両の脱線事故を想定した訓練を実施し、復旧機材の取扱いや手順の確認と、訓練で判明した課題・問題点の抽出を行い、その解決方法を議論いたしました。



(5) ホームにおける転落防止の取り組みと今後の方針

伊賀線の第三種鉄道事業者である伊賀市と連携して、各駅に点状ブロックを整備するとともに電車とホームの間に大きく空いている箇所（広小路駅・上林駅）では、お客さまに注意していただくよう足下灯を設置しています。また、今後も駅で乗り降りされる際の声掛け・見守りを行ってまいります。



（広小路駅）

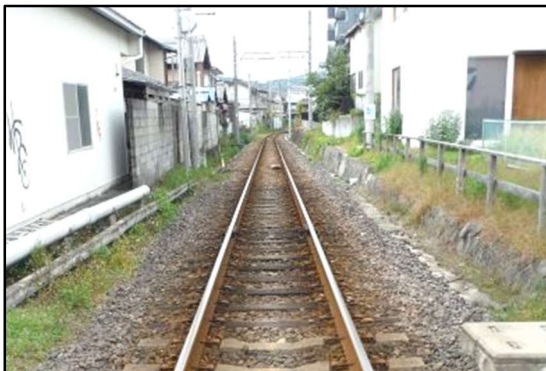


（上林駅）

足下灯

(6) 施設・車両の管理

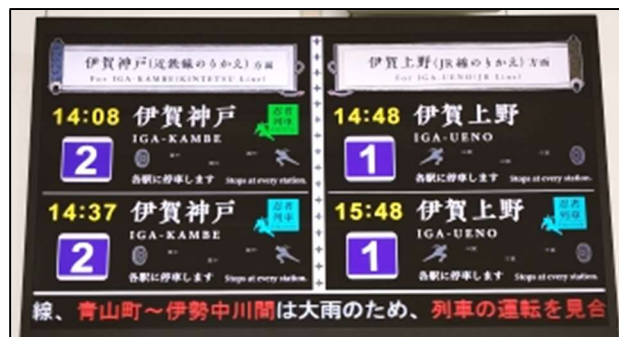
線路・駅舎・踏切等の施設や車両に関しては、伊賀線の第三種鉄道事業者であり、施設・車両の保有者である伊賀市から委託を受け、当社が保守管理や更新工事を行っています。



（PCマクラギ化工事 左：着手前 右：完成後）

(7) 異例時における情報提供モニター設置

近年のゲリラ豪雨や台風等の異常気象や鉄道電気・線路・車両設備の故障など、列車運行への影響がある事象が発生した時には、速やかにお客様に周知するため、上野市駅のコンコースとホームに運行情報のテロップを流すことができる行先表示器を設置しております。また、沿線各駅には、構内一斉放送により周知を図っております。



(8) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染防止ならびに感染拡大防止のため、「鉄軌道事業者における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、以下のようなお客様および当社社員の感染防止の取り組みを実施しております。(2023年3月現在)

(お客様に対する主な取り組み)

- ・列車内の空気を入れ換えるため、車両の窓を開けて運行
- ・上野市駅と茅町駅の改札口付近にアルコール消毒液を設置

(当社社員における主な取り組み)

- ・全社員が勤務中にマスクを着用、手洗いおよび手指のアルコール消毒を徹底
- ・出勤前および出勤時の検温および体調確認により、全社員の体調管理を徹底
- ・対面で会話する箇所や会議室に遮蔽用のビニールシートを設置
- ・近鉄グループホールディングスの新型コロナウイルスワクチン職域接種に参加
- ・紫外線殺菌灯による乗務員寝室の除菌を2日に1回実施

(2020年9月、伊賀市と連携して全車両の車内に抗菌・抗ウイルス加工を実施いたしました。)

(9) 上野遊水地陸開施設使用時の適切な対応

伊賀市の治水安全度向上を目的として上野遊水地の外周堤と伊賀線の交差箇所に陸開を設置する工事を国から受託施行して2022年度に完成いたしました。また、本格的な出水期までに、関係者で操作訓練を夜間に実施いたしました。



(10) 中部運輸局長表彰

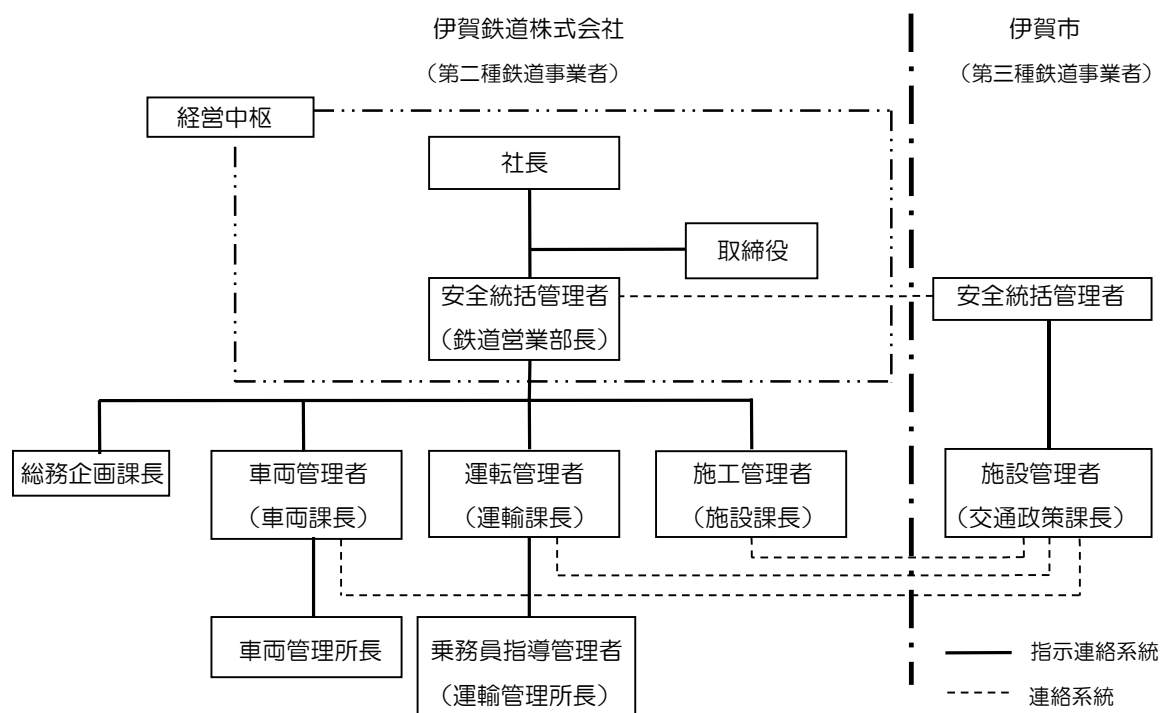
運輸関係事業に対する積極的な取り組みにより、一定の走行距離数に応じ無事故であった鉄道事業者に対し与えられる『優良事業者』に選定され、2022年10月27日に、中部運輸局長より表彰をお受けいたしました。



5. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社の「安全管理規程」に基づき、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織体制の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にしたうえ、安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 （鉄道営業部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 （運輸課長）	安全統括管理者の命を受け、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 （運輸管理所長）	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
施工管理者 （施設課長）	安全統括管理者の命を受け、施設の保守、工事に関する事項を統括する。
車両管理者 （車両課長）	安全統括管理者の命を受け、車両に関する事項を統括する。
車両管理所長	車両管理者の命を受け、車両の保守、係員の資質の維持に関する事項を管理する。
総務企画課長	安全統括管理者の命を受け、輸送の安全の確保に必要な投資および要員に関する事項を統括する。

6. お客様や沿線の皆さまへのお願い

(1) ホームでのお願い

ホームでは点状ブロックの内側を歩行していただくとともに、歩きながらのスマートフォン・携帯電話の操作は危険ですでお控え下さい。

(2) 車内でのお願い

- ① 電車は、やむをえず急停車することがあります。走行中は座席にお座りになるか、手すり・吊革におつかまり下さい。
- ② 当社では、駅員のいない駅での扉の取り扱いを、混雑した列車を除き先頭車の前扉に限定しております。ご乗車の際、整理券をお取りいただき、運賃、乗車券はお降りの際、先頭車の運賃箱にお入れ願います。また、定期券をお持ちのお客様は運転士にお示し願います。
- ③ 危険品の車内持ち込みは固く禁じられています。駅や車内で不審な荷物や不審な行為を見かけられたときは、すぐ駅係員、運転士にお知らせ下さい。

- ④ 各車両には車内非常通報装置を設置しています。
車内で異常を発見したときは、非常通報ボタンを押すと運転士に異常を知らせることができます。

- ⑤ 各車両には優先座席を設けております。身体の不自由なお客様、ご高齢や妊婦のお客様などに席をお譲り下さいますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

- ⑥ ベビーカーをご利用のお客様は、混雑時は他のお客様へのご配慮をお願いいたします。

また走行中はベビーカーが突然動き出したり転倒するおそれがありますので、ストッパーをかけ、手を離さないようご注意願います。

- ⑦ 当社では、持込み料無料で車内に自転車をお持ち込みいただける「サイクルトレイン」を実施しています。車内では絶対に自転車に乗らないよう、また自転車が倒れないよう手で支えて下さい。

(対象となる列車や注意事項等の詳しい情報は、当社ホームページをご覧ください。)



非常通報ボタン

(3) 踏切でのお願い

- ① 警報器が鳴り始めたら、踏切道内に入らないで下さい。
- ② 踏切内において、自動車がエンスト、落輪等で脱出できないときや、車が停止している等異常を発見したときは、直ちに警報器付近にある非常ボタン（一部の踏切道を除く）を強く押して下さい。異常を列車に知らせるシステムになっております。



7. 地域の皆さまとのかかわり、コミュニケーション

(1) こども110番の駅

上野市駅では「こども110番の駅」として地域子どもたちを守るための取り組みを行っております。子どもが助けを求めてきたとき、社員が保護し警察に通報する等の対応をいたします。

(2) 電車の乗り方教室

伊賀市と協力して、伊賀市内の小学校や幼稚園・保育所（園）の児童・園児を対象に「電車の乗り方教室」を開催し、子どもたちの当社への関心を高めるとともに、電車利用に対するマナーを身につけてもらう取り組みを行っています。2022年度は8回開催し、計172人の子どもたちに参加していただきました。



（こども110番の駅のステッカー）



（電車の乗り方教室の様子）

(3) 伊賀鉄道友の会、沿線の施設・団体と共同で開催するイベント

沿線地域の賑わいづくりに協力するべく、当社のサポーター団体である「伊賀鉄道友の会」や、沿線の施設・団体と共同で、様々なイベント列車の運行やイベントの開催を行っています。2022年7月18日には、100周年記念事業に合わせて『伊賀線まつり』をコロナ対策を行いながら、例年より規模を拡げて開催し、過去最多の3,000人以上のお客様にご来場いただきました。また、2022年10月22日には、「いがてつマルシェ」を上野市車庫で開催いたしました。キッチンカーや沿線のお店の商品の販売、また定番の伊賀線ジオラマや運転シミュレーション体験他でお楽しみいただきました。



（伊賀線まつりの様子）



(4) まくら木オーナー制度、つり革オーナー制度他

お名前・メッセージを表示したプレートを駅構内のまくら木に設置し、そのまくら木

のオーナーになっていただく「まくら木オーナー制度」について、本年はお城と駅舎がデザインされた「うえのまち」プレートやふるさと納税専用の「忍者」プレート等、全4種類のプレートの募集をいたしまして、211枚のご応募がありました。

また、2021年に『つり革オーナー制度』を新たに始めました。つり革のサヤ部分にメッセージとお名前を記載したものを1年間車内で実際に使用、期間終了後にはそれを取り外してご自宅まで郵送するというサービスで、2022年度は5色のカラーリングを選べる企画としたところ、150口満員御礼となりました。

沿線の企業や店舗の名称等を各駅に副駅名として表示し、代わりに広告料をいただく「駅名ネーミングライツ」については、四十九駅、茅町駅、丸山駅の3駅に加えて、令和4年4月より新居駅の副駅名が『伊賀を守る上野遊水地』となりました。



(3種類のまくら木オーナーのプレート)

(5色のつり革オーナーのリングと
サヤ部分のメッセージ)

(5)「お客さまの声」を受けて

当社では、上野市駅にご意見箱を設けてお客さまの声を承るほか、沿線自治体等からのご意見やご要望を受け改善に努めております。また、災害や事故等により列車運行に多大な影響が生じる場合は、当社ホームページやTwitterの当社公式アカウントでご案内いたします。

今後も、お客さまのご意見・ご要望等を経営に反映させ、安全の確保に努めてまいります。

8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

【連絡先】伊賀鉄道株式会社 鉄道営業部 総務企画課

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内61番地の2

TEL 0595 (21) 0863 FAX 0595 (21) 1070

月～金（祝日を除く） 9:00 ～ 17:30

伊賀鉄道の時刻、運賃、運行状況、イベント等の情報はホームページをご覧ください。

伊賀鉄道ホームページ <https://www.igatetsu.co.jp>